

令和元年度第1回金沢市行政改革推進委員会 会議概要

1 日時 令和元年11月28日(木) 午後2時00分～午後3時00分

2 場所 金沢市役所7階 議会第1委員会室

3 出席者(委員及び本部員等)

委員 (13名)	岡田 浩(委員長)	坂下 清司	濱崎 英明
	小杉 雄二	川端 知哉	古 一之
	中川 一成	本谷 悦子	野路 治子
	山崎 陽子	佐々木 修吾	竹下 知子
	三原 千明(敬称略)		
本部員等 (23名)	(行政改革推進本部員)		(行政改革推進本部幹事)
	副市長	相川 一郎	情報政策課長 松本 明
	教育長	野口 弘	人事課長 川畑 宏樹
	消防局長	清瀬 守	財政課長 村角 薫明
	公営企業管理者	平嶋 正実	行政経営課長 松本 尚人
	都市政策局長	松田 滋人	
	総務局長	太田 敏明	
	文化スポーツ局長	嶋浦 雄峰	
	経済局長	吉田 康敏	
	農林水産局長	山田 裕	
	市民局長	長谷 進一	
	福祉局長	山田 啓之	
	保健局長	西川 和昭	
	環境局長	佐久間 悟	
	都市整備局長	木谷 弘司	
	土木局長	川島 篤	
	危機管理監	木村 裕一	
	会計管理者	中村 弘志	
	市立病院事務局長	西尾 昭浩	
議会事務局総務課長	寺野 匡		

4 議題

- (1) 金沢市行政改革大綱(第6次)の取組結果について
- (2) 令和元年度市民行政評価の結果について
- (3) 市民行政評価結果の予算への反映状況について
- (4) 指定管理者の管理運営状況に関する評価について
- (5) アウトソーシング推進計画(概要)について

(1) 金沢市行政改革大綱（第6次）の取組結果について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔協働に関する重点目標〕に関して</p> <p>かなざわコミュニティ・コーディネーター育成について、具体的にどのような事業なのか。また、目標を達成できなかった理由は。</p>	<p>(市民局長)</p> <p>かなざわコミュニティ・コーディネーター育成事業は、コミュニティ活動や市民協働についての知識やスキルを有し、地域における問題解決や協働を推進する人材を育成することで、地域コミュニティの充実・活性化に繋げようとする事業である。もう少し具体的に説明すると、町会や公民館等で開催される地域の課題や問題等を解決する会議等に、司会や運営スタッフとして参加し、期待すべき結論に導くことをお手伝いする人材を育成するものである。</p> <p>目標を達成できなかった理由は、平成29年度までは、8回の講座のうち最低5回の出席を義務づけていたが、年間5回の出席はなかなか難しいことから、平成30年度からは、指定する講座に3回出席し、その他年間5、6回地域で開催される沙龙的なものに2回出席すれば認定できるというように、少しハードルを下げた。しかしながら、3回の講座については質を維持するため、県外のかかなり有名な講師の方をお願いしており、頻繁に開催できず、また、1回あたりの講座も半日程度と長時間となり、どうしても土日開催となり、参加者が出席要件をクリアすることが難しかったということがある。</p> <p>これ以上基準を下げることは、質の低下につながるため難しいが、まだまだ周知がされていないところもあることから、講座等の開催の際には、これまで以上に積極的に広報し、参加者を募集するとともに、コーディネーターが活躍する場もPRとなるため、様々な地域で開催するサロンについて、市が直接開催するもの以外にも、その他の団体と協働で開催するもの等についても積極的に展開し、コーディネーターを増やしていきたい。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
2	<p>〔審議会委員に占める女性委員の割合〕に関して</p> <p>審議会等に占める女性委員の割合について、目標を達成できなかった理由は。</p>	<p>(市民局長)</p> <p>市には様々な審議会等があるが、対象となる審議事項により、関係する事業者や団体等へ委員の推薦を依頼する場合がある。</p> <p>例えば、交通関係では都心軸交通環境整備検討委員会、市場関係では中央卸市場取引業務運営協議会、医療関係では予防接種健康被害調査委員会といったものがあるが、関係団体には女性の代表者や役職者が少なく、なかなか推薦を頂けないという現状がある。</p> <p>また、近年は専門知識がないと審議を尽くせない審議会等も多くあり、大学の先生の選任も難しい。平成28年の内閣府の調査では、全国の大学の女性教員の割合が23.7%ということで、徐々に女性の活躍が進んできているものの、まだまだ多くないということで、選任に苦慮している。</p> <p>今後も、役職にとらわれず、適切な女性委員の推薦について依頼しながら、女性委員の確保に努めていきたいと考えている。</p>
3	<p>〔保育料収入率〕に関して</p> <p>保育料収入率について、平成27年度から4年連続で目標を達成できなかったことに加え、収入率が年々低下している理由は。</p>	<p>(福祉局長)</p> <p>滞納には様々な事情があり、例えば保護者の収入減や離職などが考えられる。一方、保育料の軽減措置など、そういった方々への配慮も行いながら徴収を行っている。目標には幾分達していないが、99%台後半の収入率は、高い水準を維持しているのではないかと考えている。</p> <p>ただ、収入率が年々低下していることについては、複雑な家庭事情や経済環境等、福祉的な観点から徴収が難しいことが影響していると考えられる。また、子ども・子育て支援新制度に移行したことで、保育料については、認定こども園の場合は園が徴収するというかたちに制度が変更となり、市が徴収する保育料が減少しているということも考えられる。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>詳しい理由はなかなか難しいところではあるが、引き続き、収入確保に向けて取り組みを進めていきたいと考えている。</p>
4	<p>〔市民防災訓練への地域住民の参加率〕 に関して</p> <p>市民防災訓練への地域住民の参加率について、目標を達成できなかった理由は。</p>	<p>(危機管理監)</p> <p>市民防災訓練については、平成29年度までは、拠点避難場所へ全員が参加する訓練を実施し、高い参加率を確保していたが、平成30年度は、訓練内容を一部変更し、各町会の集合場所である公園などの一時避難場所への参集訓練及び安否確認訓練等を主なものとした。</p> <p>そのことから、拠点避難場所への参集は各町会の代表者のみの参加となり、参加率が減少したものである。</p> <p>なお、一時避難場所への参加率は半数以上であり、十分な参加率があったと聞いている。</p>
5	<p>〔スポーツボランティアの活動者数〕 に関して</p> <p>スポーツボランティアの活動者数について、目標を達成できなかった理由は。</p>	<p>(文化スポーツ局長)</p> <p>スポーツボランティアの活動者数については、平成27年度から平成30年度にかけて、若干ずつではあるが増加している。</p> <p>活動者数については、年1回の専門研修会への出席者数のほか、金沢マラソンや金沢ウォークなど本市主催の大きなスポーツイベントへの参加者数を足して算出している。</p> <p>平成30年度については、金沢ウォークの2日目が台風により中止となったことから、開催日数が1日減となり、活動者数が目標に達しなかった。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
6	<p>〔スポーツボランティアの活動者数〕に関して</p> <p>資料3-1の18ページ備考欄に、2020年のオリンピックを迎えるにあたって、ボランティア活動者数の増加につなげていきたいとあるが、どのような対策があるのか。</p>	<p>(文化スポーツ局長)</p> <p>オリンピックにあたり、本市はフランスを対象国とするホストタウンに登録しており、フランス選手団の合宿が金沢で行われる。</p> <p>その合宿のためのボランティアを、スポーツボランティアとは別組織で立ち上げ、今年度、事前合宿を1年早くトライアルとして行い、ご活躍いただいております、こういった中で研修等も実施している。</p>

(2) 令和元年度市民行政評価の結果について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔若者女性キャリアアップ促進奨励金〕に関して</p> <p>若者女性キャリアアップ促進奨励金の評価結果について、「対象となる労働者の範囲について検討しつつ、継続すべきである。」とあるが、労働者の範囲とは具体的にはどういうことか。</p>	<p>(経済局長)</p> <p>若者女性キャリアアップ促進奨励金については、現時点では若者が35歳未満、女性が45歳未満と対象を制限しているが、市民行政評価委員会において、就職氷河期世代の男性がなかなか正規職員に就けないという社会問題があることから、対象年齢を35歳ではなくもう少し上げなければならないのではないかという意見があり、そういう意味で、労働者の範囲について検討して欲しいということである。</p> <p>事業としては継続するが、対象となる範囲について見直しができないか、今後検討していきたい。</p>

(3) 市民行政評価結果の予算への反映状況について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔コミュニティ・スクール推進事業費〕に関して</p> <p>私たちが学校の先生とお話しようとしてもなかなか時間がなく、本当に先生は忙しいと実感している。</p> <p>先生のためにコミュニティ・スクールアドバイザー及び推進会議を設置するとあるが、コミュニティ・スクールアドバイザーとは何か。</p>	<p>(教育長)</p> <p>「コミュニティ・スクール」とは、学校が抱える固有の課題解決に向け、保護者や地域の方々が学校と共に知恵を出し合い、学校運営に参画するものである。</p> <p>一昨年から、金沢市を含め県全体で先生方の時間外勤務時間の削減に向けて努力しているところであり、その一環として、コミュニティ・スクールを導入している。</p> <p>各学校には多くの委員会等があり、その会議等に時間を取られているが、先生方に教材研究など本来の業務に向かい合っていただくため、このコミュニティ・スクールの中に様々な部会を設けて集約している。</p> <p>現在、コミュニティ・スクールの運営委員をしていただいている約 600 名の方々にアンケートを実施した結果、8 割以上の方々が、コミュニティ・スクールは働く時間を確保するために大変有効であるというご回答をいただいております、併せて中学校にも導入してはどうかというご意見もいただいた。</p> <p>このご意見を踏まえ、コミュニティ・スクールを中学校へ拡大することを検討しているが、運営に当たり様々な課題に対処していかねばならないため、「コミュニティ・スクールアドバイザー」を設置したいと考えている。コミュニティ・スクールアドバイザーとは、大学教授等をアドバイザーとして委嘱し、コミュニティ・スクールの運営等に対して指導助言等をいただくものである。</p>

2	<p>〔パソコンサロン運営費〕に 関して</p> <p>市民行政評価では、運営方法の見直しを図るとともに、コストの削減や事業規模の縮小等について検討する必要があるという結果であったが、パソコンサロンを指定管理業務に移行した結果、令和元年度予算が平成30年度予算と比較して100万円以上増加しており、効率化や経費の削減になっていないように見えるが、どうか。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>パソコンサロンで使用するパソコンについて、平成30年度までは、通常のリース期間が終了した後の再リースということで借上料が低かったが、令和元年度は、新しいパソコンをリース契約したため、借上料が約230万円増額となったものである。</p>
---	--	--

(4) 指定管理者の管理運営状況に関する評価について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔指定管理者の評価方法〕に 関して</p> <p>金沢市が今どのような状況になっているかわからないが、他のところで、特にスポーツ関連施設等でどんどん予算が削られ、労働者の労働条件が非常に悪くなっているということも聞いているが、そのあたりについてどのように考えているか。</p> <p>評価項目の個別評価について、そこで働いている人が安心して働けているか、ちゃんと経営ができているか、というところが、この項目内のどこかに入っていると考えてよいか。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>当然、仕様書では法令や基準等に沿って履行するよう定められており、仕様書に沿って履行していくことが前提になることから、決して法令や基準等に反するような労働環境にはならないと考えている。</p> <p>(行政経営課長)</p> <p>項目の中に入っていると考えていただいて構わない。</p>

(5) アウトソーシング推進計画（概要）について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔業務委託〕に関して</p> <p>業務委託を推進していくというところで、予算の削減についても理解はできるが、委託先で働いている方々の労働条件や賃金等についてはどのように考えているか。</p>	<p>（行政経営課長）</p> <p>職員や予算の削減ありきということではなく、まずは、利便性の向上や事務処理の効率化が図られるかという視点で考えているが、計画を策定し実施していく以上は、当然効果も求められることから、削減される人手や予算等を、少しでも市の重要な施策に振り向け、市民満足度の向上を目指していきたいと考えている。</p>